

我が国防衛の最前線 九州・沖縄の領土・国民を防衛して61年

陸上自衛隊 西部方面隊

方面総監 小川 清史 陸将

<http://www.mod.go.jp/gsdf/wae/>

●あらゆる事態に対する即応性

常に複数正面・複合事態に即応できる態勢を維持(南西諸島・北部九州への2つの正面・南海トラフ巨大地震等の大規模災害対処)

挑 戦

●抑止態勢の強化

スピード感を持って南西防衛態勢を強化し、侵略を未然に抑止

●統合・共同・協同の深化

海空自との統合運用、米軍との日米共同及び地方自治体等の関係機関との協同等による緊密な連携(南西の島嶼防衛の要)

任 務

- 九州・沖縄の防衛・警備
- 災害派遣等
- 国際平和協力活動
- 不発弾処理

第4師団(福岡駐屯地) 師団長 岩谷 要 陸将

- 師団司令部
- 第16普通科連隊
- 第40普通科連隊
- 第41普通科連隊
- 対馬警備隊
- 第4特科連隊
- 第4後方支援連隊
- 第4戦車大隊
- 第4高射特科大隊
- 第4施設大隊
- 第4通信大隊
- 師団司令部付隊
- 第4偵察隊
- 第4飛行隊
- 第4特殊武器防護隊
- 第4音楽隊



第8師団(北熊本駐屯地) 師団長 本松 敬史 陸将

- 師団司令部
- 第12普通科連隊
- 第24普通科連隊
- 第42普通科連隊
- 第43普通科連隊
- 第8特科連隊
- 第8後方支援連隊
- 第8戦車大隊
- 第8高射特科大隊
- 第8施設大隊
- 第8通信大隊
- 師団司令部付隊
- 第8偵察隊
- 第8飛行隊
- 第8特殊武器防護隊
- 第8音楽隊
- 西部方面対空艦隊



第15旅団(那覇駐屯地) 旅団長 原田 智総 陸将補

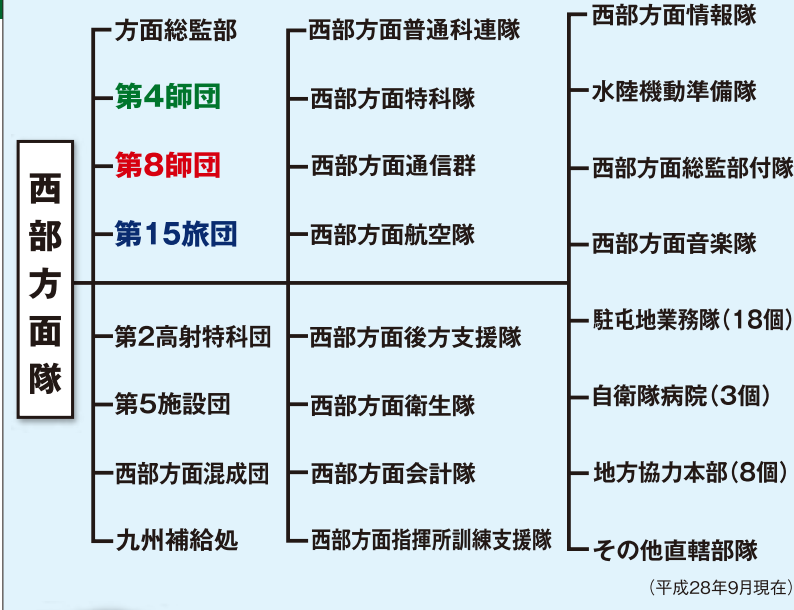
- 旅団司令部
- 第51普通科連隊
- 第15高射特科連隊
- 第15ヘリコプター隊
- 第15後方支援隊
- 第15偵察隊
- 第15通信隊
- 第15施設中隊
- 第15特殊武器防護隊
- 旅団司令部付隊
- 第15音楽隊
- 第101不発弾処理隊



編 成

総 数	約 30,000 名
常備自衛官	約 27,000 名
即応予備自衛官	約 2,000 名
事務官等	約 1,000 名

定員



西部方面隊

西部方面隊は、地理的特性及び戦術環境上、九州本土から南西諸島までの広範な地域において武力攻撃事態等や、大規模災害への対応等、常にあらゆる事態に即応できる態勢が求められています。

これらに的確に対応するため、日米共同訓練や陸海空自衛隊による統合訓練等を行ない、各種事態等への対処能力を向上させるとともに、大規模災害に対する備えとして、関係部外機関等との連携強化を図るほか、国連平和維持活動(PKO)への部隊の派遣等、我が国のグローバルな安全保障環境の構築の行なっています。

また、南西地域における防衛体制を更に強化し、南西地域の島しょ部に対する部隊の配置等の陸上自衛隊創隊以来の大改革に取り組んでいます。

西部方面隊は、いつでも、いかなる任務を与えられようとも、即応し任務を遂行すべく、日々の訓練を積み重ねる日々を過ごしています。



(左)中谷元・前防衛大臣 (右)西部方面総監 小川清史 陸将

西部方面隊の活動

全力で活動！熊本のために！（熊本地震）



与那国防衛体制(防衛力整備)の強化

